



この公園で一番大きな花壇だからシンボルになるような、見栄えのする花壇にしたいなあ…。管理のしやすさも大事だね。多年草がたくさん植わっているから、もう少しすっきりさせたいな。



実施前

見栄えのするシンボル花壇づくり

- 日時：令和3年7月26日 10-12時
- 場所：いの山南公園（栄区）
- 講師：(株)河野自然園
- 参加者：公園愛護会関係者、市職員



Step1 計画

ポイント

注意

観察して課題を見つける
多年草が成長して広がり、混みあっています。また、花壇内に配置されているレンガが植物に覆われて見えなくなっています。公園内で一番大きい花壇ですが、あまり目立っていません。

対策を考える
周辺の花壇との差別化を図る
→ 既存の資材を活用しつつ、見栄えのする花壇としよう！
管理のしやすさも大事だね。
🌿 既存のレンガ、植物※を活用
🌿 レンガの配置を工夫
🌿 管理用通路を設ける

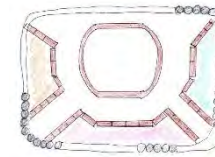
植栽を選ぶ

- ・様々な色を使いすぎない※
- ・花や葉の大きさや植物の背丈に変化をつける。
- ・カラーリーフでアクセント



ヒューケラ アンゲロニア ニチニチソウ

配置をイメージ
レンガを用いて区画を分け、管理用通路を設ける。中央にシンボルエリアを作る。



Step2 基盤づくり



植物を移植し、レンガを除き、はまっ子ユーキ※を混ぜ込む。

※ラベンダーをシンボルエリアに移植

※様々な色の植物を使うと、まとまりがなく、雑多な印象になってしまいます。

※横浜で育った樹木の剪定枝や刈草等を原料に横浜で作っている堆肥

Step3 植付



レンガ※を使用し、植え込み部分と通路を区別する。



雑草対策
通路部分には防草シートを敷いていく。



区画整理完了
中央の円形部分も手入れしやすいように、管理通路を設置。



植物の植付
一年草は3ポットで1かたまりとし、間に宿根草を配置。



管理用通路の仕上げ
クッション材として、生チップ※を通路に敷きつめる。

※レンガは、倒れないように半分程埋め込みます。

※横浜の緑地帯や公園からでた樹木の幹材をそのまま破碎したもの。